

平成28年度 第46回小樽支部高等学校テニス選手権大会

兼 第56回北海道高等学校テニス選手権大会小樽支部予選会

開 催 要 項

主 催 高体連小樽支部
後 援 小樽市教育委員会・小樽テニス協会
当番校 北海道小樽明峰高等学校

- 1 期 日 平成 28 年 5月19日 (木) 午前8時10分 顧問会議 (晴雨にかかわらず集合)
午前8時20分 開会式
午前8時30分 競技開始 (団体戦・個人戦ダブルス)
5月20日 (金) 午前8時30分 競技開始 (個人戦シングルス)
閉会式(競技終了次第)
*雨天順延
- 2 会 場 小樽市からまつ公園テニスコート(090-8425-8044 佐野携帯)
- 3 競技規定 日本テニス協会規定による。
- 4 参加資格
 - 1) 北海道テニス協会並びに北海道高等学校体育連盟に加盟する学校、または高等専門学校で各支部高体連テニス専門委員より推薦された学校の生徒であること。
 - 2) 参加選手は平成10年4月2日以降出生の者で、該当校に在学中の者とする。ただし、同一学年での出場は1回限りとし、第3学年までの19歳未満の者に限る。
 - 3) 団体チーム・個人チーム(複)の構成は、単一高校の生徒であること。
(全日制・定時制の混成は認めない。)
 - 4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、高体連小樽支部長が許可した者は、この限りでない。
 - 5) 出場する選手は在学学校長の出場承認を必要とする。
 - 6) 「主催大会参加災害補償制度」に加入した者、または加入の意志のある者。
- 5 チームの《団体の部》
構 成
 - 1) 各学校から男女各1チームで、監督(当該学校顧問)、マネージャー1人、選手で構成する。
 - 2) 選手は、単の実力順位で4人以上5人以内を登録する。複の試合は5人の中で 適当に1組を作り、単の試合は他の3人の中で、どの2人が出場してもよいが、登録の順位に従ってオーダーを提出する。
また、単複を同一選手が兼ねることはできない。《個人の部》
 - 1) 各校男子、女子とも実力順に単6人・複4組以内とする。
- 6 競技方法
 - 1) 団体戦は、複1組、単2人のトーナメントとし、初回戦は勝敗にかかわらず3試合すべて行う。
 - 2) 個人戦は、単・複ともにトーナメントとする。
 - 3) 1セットマッチで行い、6ゲームオールの場合は、12ポイントタイブレークとする。
 - 4) 試合球:WILSON「US OPEN EXTRA DUTY」とする。
- 7 申 込 み
 - 1) 所定の用紙に必要事項を入力し5月11日(水)正午必着で専門委員佐野へメールすること。
 - 2) メール宛先: 倶知安高校 佐野 寿明 メールアドレス:toshi725@hokkaido-c.ed.jp
 - 3) 事務局: 小樽明峰高等学校(〒047-8586 小樽市最上1丁目14-17 TEL(0134)22-1940) 中林
 - 4) 職印を押した正式申込書および参加料1人300円は、大会当日受付時に事務局へ提出すること。
- 8 組 合 せ 5月13日(金)午後1時より、小樽明峰高校会議室において専門委員会で決定する。
- 10 その他
 - 1) 服装はテニスウェアとし、腰部に葉書大の校名入りマークを明示する。
 - 2) ガットマークの使用は禁止する。
 - 3) 審判は敗者審判を原則とする。
 - 4) コールされて5分以内にコートに入らなければ失格とする。
 - 5) コートには、競技者・審判員・ボールパーソン(シングルスのみ)以外は入場できない。
ただし、団体戦では登録された監督(2名以内)または選手1名がベンチに入ることができる。
 - 6) 試合前の練習はサーブのみとする。
 - 7) 団体戦の優勝校および個人戦優勝者には優勝杯(持ち回り)と賞状を、2位・3位には賞状を授与する。
 - 8) 大会の成績は今年度の秋季大会団体戦および個人戦のシードの資料とする。
 - 9) 大会は高等教育の一貫としてふまえ、著しく他に影響を与えるような頭髪の染色や華美な装飾品(ピアス等)の着用などは原則認めない。
 - 10) 公式練習は、午前7時30分～8時40分。コート割り当ては専門委員で行い、後日連絡する。
 - 11) 全道大会は、6月14日(火)～17日(金)帯広の森テニスコートで行われる。
 - 12) 選手が欠場の場合、開会式前の顧問会議までに次の要領で選手の補充を行う。なお、顧問会議以降の変更は認めない。
 - i) シード選手が欠場した場合は繰り上げドロウとし、第4シードに補欠シードを入れる。補欠が抜けた場所には、欠場当該学校の生徒を補充してもかまわない。シード選手が2名以上欠場した場合、繰り上げし、残りのシードはbyeとする。
 - ii) シード選手以外の欠場の場合は当該学校の生徒を補充しても良い。この場合ダブルスのペア変更も認める。